

# 屋外(内)用 ブースター

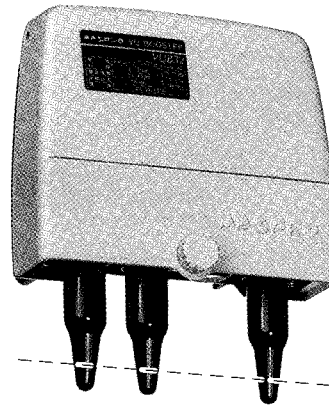
(家庭用)

## 取扱説明書

VU BOOSTER
増幅チャンネル FM・ch1~62
<b>VUB32</b>
UHF BOOSTER
増幅チャンネル ch13~62 (VHFミキサー内蔵)
<b>UB32</b>
低電圧(DC15V)方式

### 32dB型

電波が弱くザラザラした画面の場合に使用すると、きれいな画像で受信できます。



VUB32  
増幅部

75Ωケーブルの太さに合わせて切ってください。

端子カバーは後ろへ押し  
開けてください。



VUB32  
電源部

## 高性能, 高信頼

### 余裕のある高出力

電波の強い地域で出力レベルの低いブースターを使用すると、ビート縞や、ワイパー現象が発生します。(p.4参照) VHFは100dB $\mu$ , UHFは104dB $\mu$ の出力が得られますから、電波の比較的強い地域で使用しても、障害のないきれいな画像で受信できます。

### 過電流保護回路

増幅部と電源部の間でショートなどの異常が発生しても、過電流阻止半導体の働きによって、電源部を保護します。

## 優れた機能

### VU混合・別入力両用

VU混合入力・別入力に切換えできますから、ミキサー内蔵アンテナやVUミキサーを使用したVU混合入力の場合でも使用できます。

### FMカットスイッチ (VUB32)

FM放送帯域をスイッチで「増幅」または「カット」することができますから、FM電波の強い地域でもテレビの受信障害はありません。

### ポケットベル信号除去フィルター内蔵

VHFとUHFの各増幅部に、ポケットベル信号による受信障害を強力に除去するフィルターを内蔵していますから、障害のないきれいな画像で受信できます。

### フタはネジ止め式

増幅部のフタはネジ止め式ですから、しっかりと固定できます。

- ご使用の前に、この「取扱説明書」と「安全上のご注意」をよくお読みください。
- お読みになったあとは、保存してください。

親切・技術の

**MASPRO**  
=マスプロ電工=

各アンテナからのケーブルとブースター（増幅部）は、間違えないように、正しく接続してください。

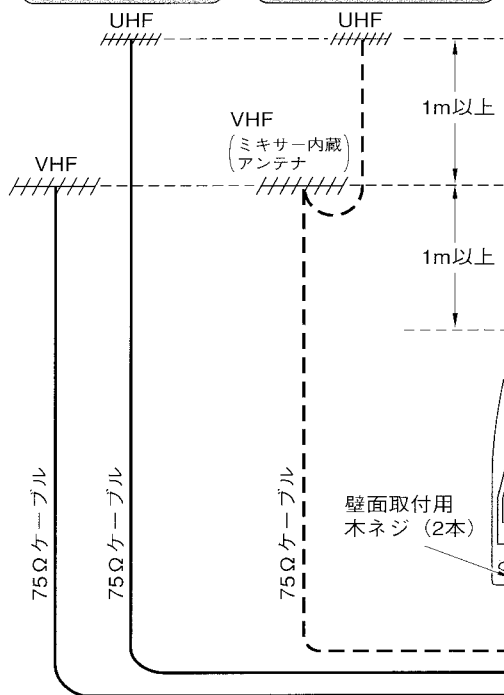
### ご注意

各アンテナ間が接近しすぎると、アンテナの性能が劣化します。また、アンテナとブースター間が接近しすぎると、ブースターが発振して、受信障害になることもあります。

### VUB32

#### VU別入力の場合

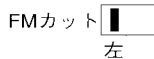
#### VU混合入力の場合



### FMカットスイッチ

#### FMカットの場合

FM電波が強い地域



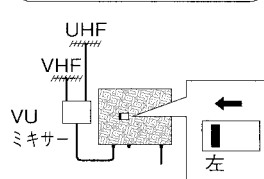
#### FM増幅の場合

FM電波が弱い地域

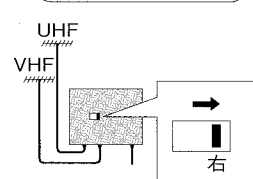


### 入力切換スイッチ

#### VU混合入力の場合



#### VU別入力の場合



### 増幅部

### 利得調整

VHF : FM・ch1~12  
UHF : ch13~62

### 利得調整

利得を最大（右）へいっぱい回した状態にして、画面にファイバー現象（画面を横に拭いていくような太い帯模様 p.4参照）が出るときは、症状が消えるまで、調整用ドライバーで、ツマミを（左）へ静かに回してください。

増幅部からTVまでは75Ωケーブル（5CFVA）で100m位が限度です。

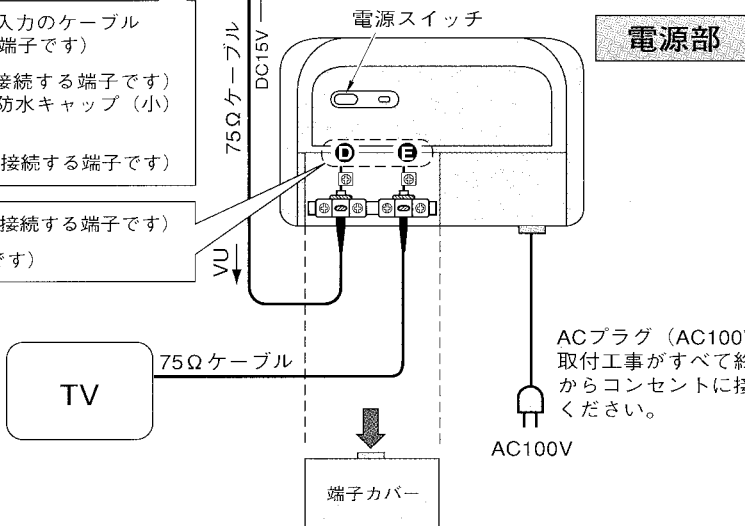
**A** VU混合入力端子またはUHFの入力端子（VU混合入力のケーブルまたは、UHFアンテナからのケーブルを接続する端子です）

**B** VHF入力端子（VHFアンテナからのケーブルを接続する端子です）VU混合入力の場合は使用しませんから、付属の防水キャップ（小）を取付けてください。

**C** 出力端子（電源部の入力端子 **D**）からのケーブルを接続する端子です）

**D** 入力端子（増幅部の出力端子 **C**）からのケーブルを接続する端子です）

**E** TV出力端子（TVからのケーブルを接続する端子です）



ACプラグ（AC100V）は、取付工事がすべて終了してからコンセントに接続してください。

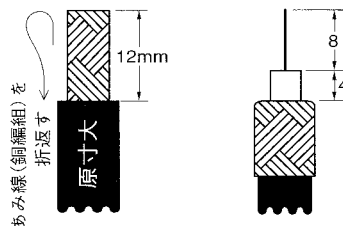
## ケーブルの加工方法

（5Cまたは4C）

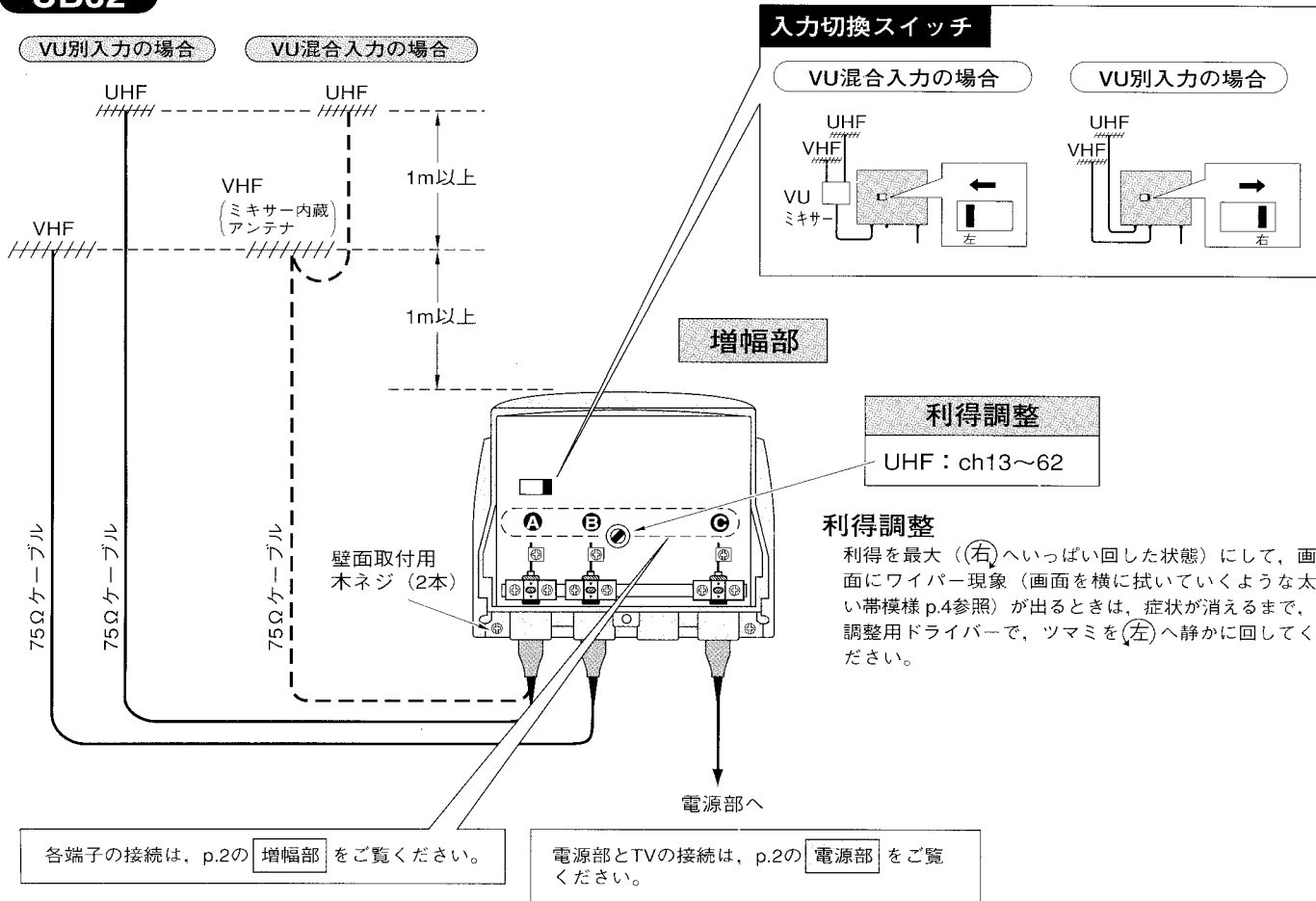
（3Cは芯線が細く、損失も多いため、5Cまたは4Cを使用してください）

**A**、**B**、**C**の各端子に接続するケーブルは、加工する前に付属の防水キャップ（大）に通してから、先端を図の寸法に加工してください。

（ブースターに接続するケーブルの先端は、すべて図の寸法）に加工してください。

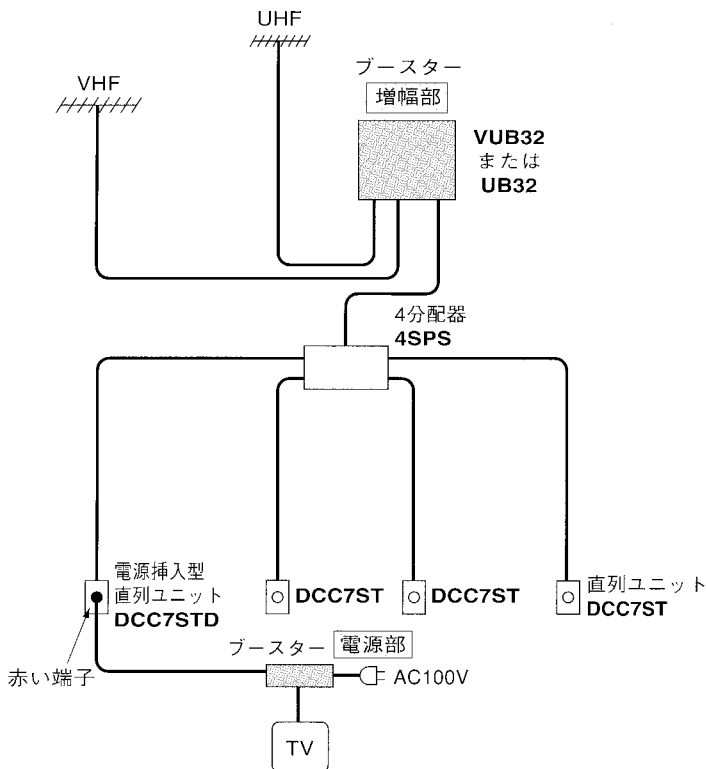


# UB32

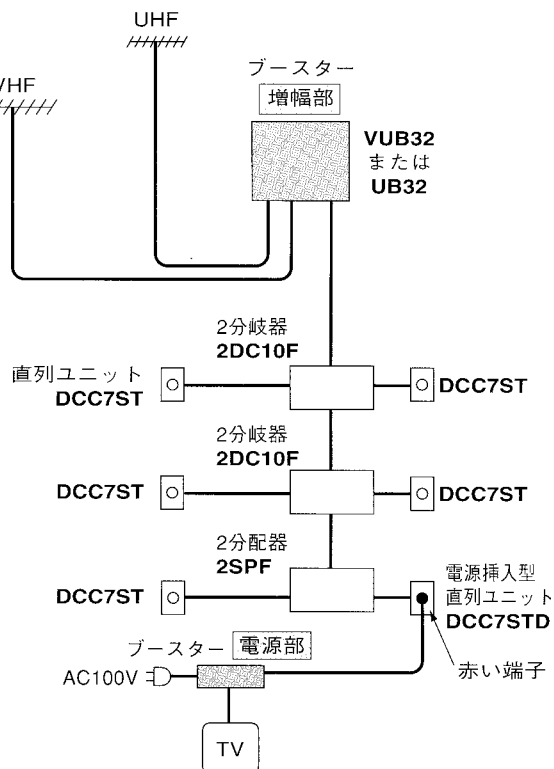


## 使用例

### 4端子の場合



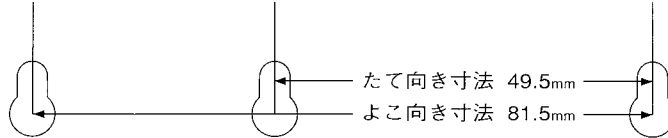
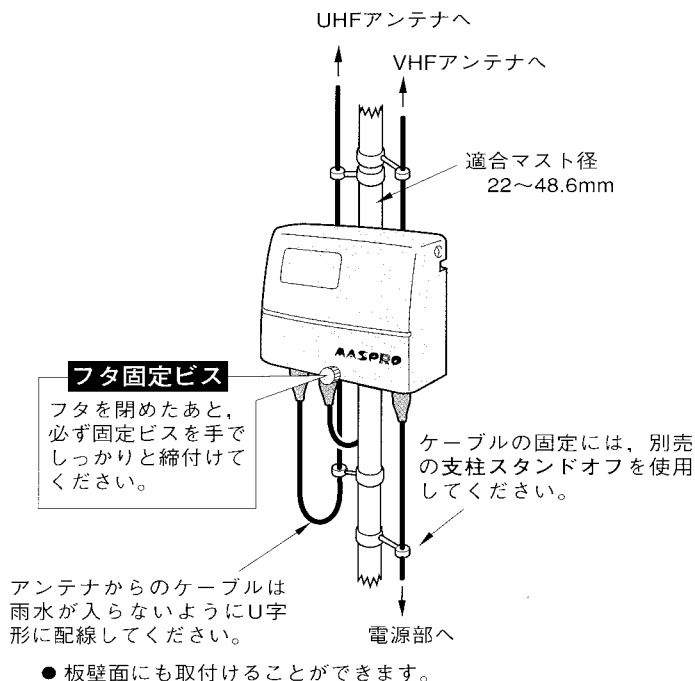
### 6端子の場合



## 取付方法

### 増幅部

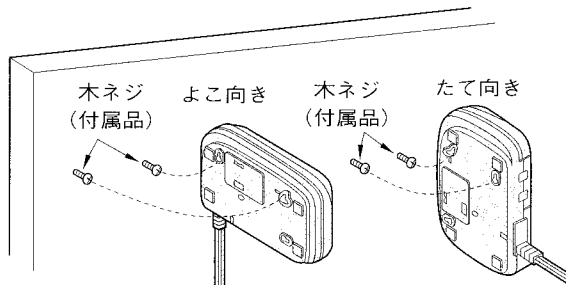
ケースのフタを完全に閉めてください。



電源部壁面取付寸法(原寸)

### 電源部

通常は、テレビの上か横に置きます。板壁面にも取付けることができます。



### ご注意

- 電源部は、温度上昇を防ぐため、風通しのよい場所に設置してください。
- 長期間ご使用にならないときは、ACプラグをコンセントから抜いてください。

## よい画質が得られないときは

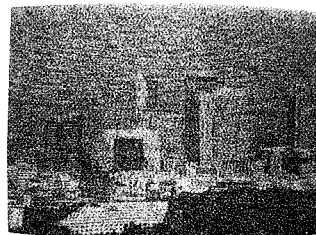
各アンテナからのケーブルが、それぞれの入力端子に正しく接続してあることを、もう一度確認してください。

### ● 画像が出ない場合、著しくスノーノイズが出る場合

- 増幅部の出力端子③にDC14~15Vがきているかチェックしてください。
- ケーブルが断線またはショートしていませんか。
- 入力切換スイッチが正しく操作してありますか。  
アンテナからの入力レベルが、がまん限 (VHF: 36.5dB $\mu$ , UHF: 36dB $\mu$ ) 以上になっていますか。

### ● 画面にビート縞・ワイパー現象が出る場合

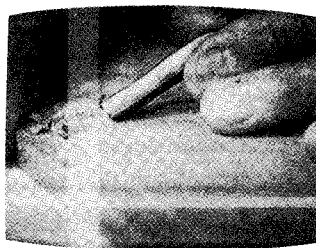
- 他の電波と混信していないか確認してください。(外部からの混信電波を止める以外に方法はありません) 画質が最も良くなるように、各アンテナの方向を調整してください。
- ch1~3の画面に障害が出るときは、FM除去スイッチを除去側(左)へ切換えてください。(VUB32)
- VHFの入力レベルが69~79dB $\mu$ の場合、利得調整ツマミを(左)へ静かに回してください。それよりVHFの入力レベルが高いか、UHFの入力レベルが79dB $\mu$ 以上のときは、障害のある帯域(VHFまたはUHF)の入力端子に、別売の減衰器ATT6, 10, 15, 20KFDを接続してレベルを下げてください。



スノーノイズ



ビート縞



ワイパー現象

## ブースターは正しくお使いください

ブースターは正しく取付けないと、発振して、ご自宅やご近所のTVの映りが悪くなることがあります。

- ① 入力端子・出力端子の配線は、取扱説明書にしたがって確実におこなってください。
- ② 入力と出力のケーブルは、束ねたりブースターに巻付けしないでください。
- ③ アンテナマストに取付ける場合、VHF・UHFアンテナとブースターとの間隔を1m以上離してください。

# 規格表

Specifications (電気的特性は、EIAJ表示法による)

## VUB32

増幅部

**AASPRO**

項目 Items	規格		
伝送周波数帯域 Frequency Range	76~108MHz (FM・ch1~3)	170~222MHz (ch4~12)	470~770MHz (ch13~62)
利得 Gain	25~31dB		29~35dB
利得偏差 (P/V) Gain Response Flatness	3dB以内		5dB以内
利得調整範囲 Gain Control Range	0~⊖10dB以上 (連続可変)		0~⊖10dB以上 (連続可変)
雑音指数 Noise Figure	2.5~4.5dB		1.5~4dB
実用入力レベル Operating Input Level	36.5 (がまん限) ~69dB $\mu$ (*79dB $\mu$ )		36 (がまん限) ~ 69dB $\mu$ (*79dB $\mu$ )
定格出力レベル Rated Output Level	100dB $\mu$		104dB $\mu$
混変調/相互変調 Cross Modulation/Intermodulation	⊖46dB以下/⊖53dB以下		⊖46dB以下/ —
VSWR	1.1~3		
入・出力インピーダンス Input/Output Impedance	75 $\Omega$		
電源 Power Requirements	DC15V 0.07A		
使用温度範囲 Temperature Range	⊖20~⊕40°C		
外観寸法 Dimensions	130(H)×148(W)×64(D)mm		
質量 (重量) Weight	約300g		
シンボル Symbol			

実用入力レベルの最小値 (がまん限) は、スノーノイズを完全に除去できませんが、実用になる限界です。

※ 利得を最小にしたときの、最大の実用入力レベルです。

電源部

**AASPRO**

項目 Items	規格
1次電圧 Primary Voltage	AC100V 50・60Hz
消費電力 Power Consumption	3W
直流出力電圧・電流 DC Output Voltage/Current	DC15V 0.07A
入・出力インピーダンス Input/Output Impedance	75 $\Omega$
挿入損失 Insertion Loss	0.2~2dB
使用温度範囲 Temperature Range	0~⊕40°C
外観寸法 Dimensions	39(H)×149(W)×98(D)mm
質量 (重量) Weight	約330g

マスプロの規格表に絶対うそはありません。ご理解と信頼あるデータにご期待ください。

### 付属品

防水キャップ (大) .....3個  
 〃 (小、VHF入力端子用) ...1個  
 木ネジ (電源部壁面取付用) .....2本

## UB32

増幅部

**AASPRO**

項目 Items	規格	
伝送周波数帯域 Frequency Range	470~770MHz (ch13~62)	76~222MHz (FM・ch1~12)
利得 Gain	29~35dB	
通過帯域損失 Insertion Loss	—	0.5~1.5dB
利得偏差 (P/V) Gain Response Flatness	5dB以内	
利得調整範囲 Gain Control Range	0~⊖10dB以上 (連続可変)	
雑音指数 Noise Figure	1.5~4dB	
実用入力レベル Operating Input Level	36 (がまん限) ~69dB $\mu$ (*79dB $\mu$ )	
定格出力レベル Rated Output Level	104dB $\mu$	
混変調 Cross Modulation	⊖46dB以下	
VSWR	1.1~3	
入・出力インピーダンス Input/Output Impedance	75 $\Omega$	
電源 Power Requirements	DC15V 0.04A	
使用温度範囲 Temperature Range	⊖20~⊕40°C	
外観寸法 Dimensions	130(H)×148(W)×64(D)mm	
質量 (重量) Weight	約290g	
シンボル Symbol		

実用入力レベルの最小値 (がまん限) は、スノーノイズを完全に除去できませんが、実用になる限界です。

※ 利得を最小にしたときの、最大の実用入力レベルです。

電源部

**AASPRO**

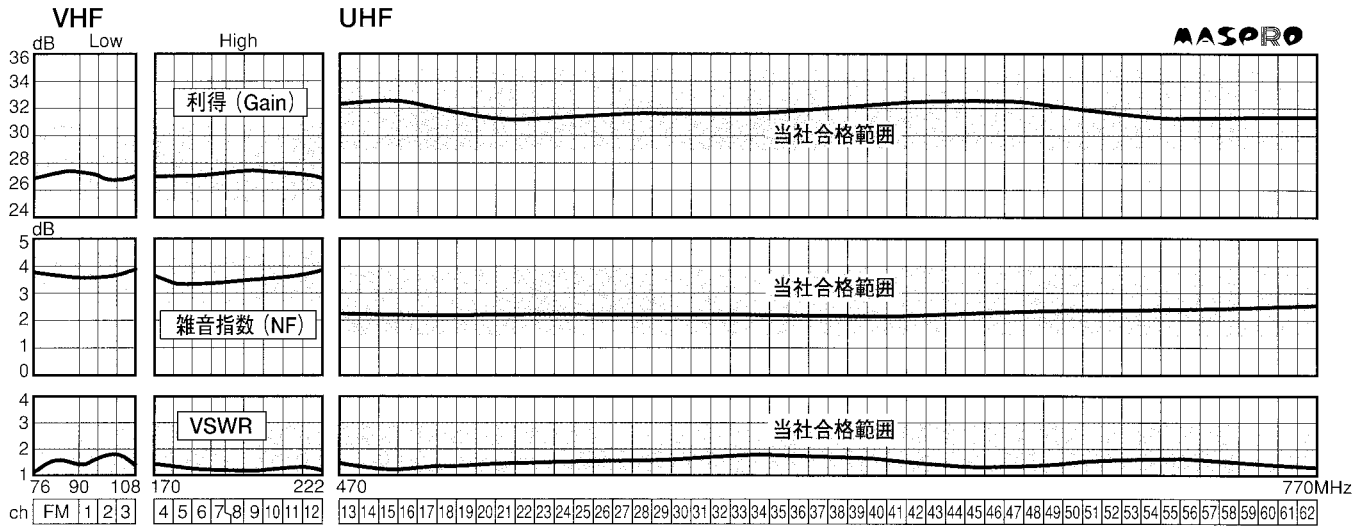
項目 Items	規格
1次電圧 Primary Voltage	AC100V 50・60Hz
消費電力 Power Consumption	2.1W
直流出力電圧・電流 DC Output Voltage/Current	DC15V 0.04A
入・出力インピーダンス Input/Output Impedance	75 $\Omega$
挿入損失 Insertion Loss	0.2~2dB
使用温度範囲 Temperature Range	0~⊕40°C
外観寸法 Dimensions	39(H)×149(W)×98(D)mm
質量 (重量) Weight	約330g

マスプロの規格表に絶対うそはありません。ご理解と信頼あるデータにご期待ください。

### 付属品

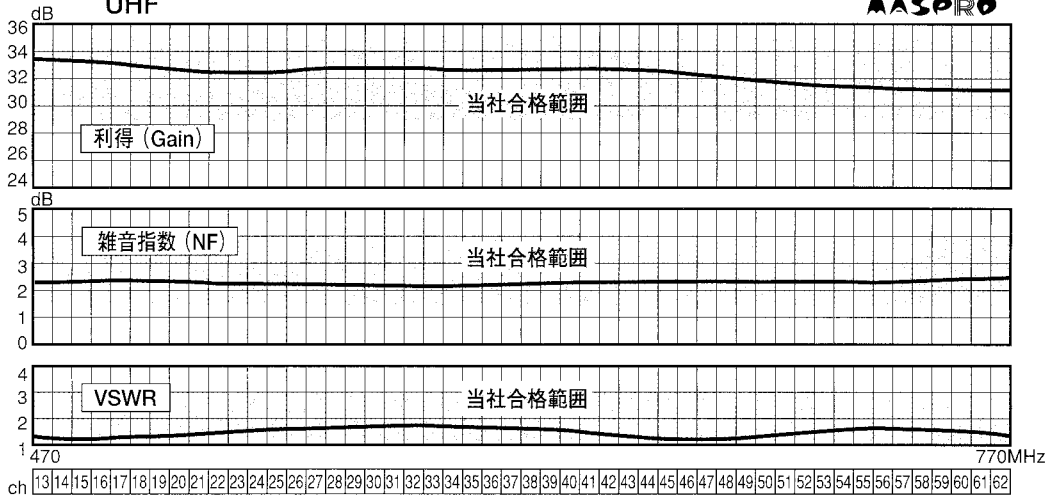
防水キャップ (大) .....3個  
 〃 (小、VHF入力端子用) ...1個  
 木ネジ (電源部壁面取付用) .....2本

VUB32



波形は、実測値の一例をそのまま記載したもので、作図はしてありません。

UB32



波形は、実測値の一例をそのまま記載したもので、作図はしてありません。

マスプロの性能表に絶対うそはありません。ご理解と信頼あるデータにご期待ください。

製品向上のため仕様・外観は変更することがあります。



本社 〒470-0194 (本社専用番号) 愛知県日進市浅田町  
 営業部 TEL名古屋 (052) 802-2244  
 技術相談 (052) 805-3366  
 インターネットホームページ www.maspro.co.jp

支店・営業所  
 沖縄 (098) 854-2768 熊本 (096) 381-7626  
 鹿児島 (099) 226-9200 長崎 (095) 846-6872  
 宮崎 (0985) 25-3877 福岡(支) (092) 531-3861  
 北九州 (093) 941-4026

下関 (0832) 55-1130	津 (059) 234-0261	横浜 (045) 784-1422	郡山 (024) 952-0095
徳山 (0834) 32-2954	岐阜 (058) 275-0805	渋谷(支) (03) 3409-5505	仙台 (022) 786-5060
広島 (082) 230-2351	名古屋(支) (052) 802-2233	工事営業部 (03) 3499-5631	盛岡 (019) 641-1681
松江 (0852) 21-5341	工事営業部 (052) 804-6262	秋葉原 (03) 3255-7335	秋田 (018) 862-7523
岡山 (086) 252-5800	豊橋 (0532) 33-1500	青戸 (03) 3695-1811	青森 (017) 742-4227
松山 (089) 973-5656	静岡 (054) 283-2220	八王子 (0426) 37-1699	函館 (0138) 53-7355
高知 (088) 882-0991	松本 (0263) 57-4625	千葉 (043) 232-5335	札幌 (011) 782-0711
高松 (087) 865-3666	福井 (0776) 23-8153	前橋 (027) 263-3767	釧路 (0154) 23-8466
姫路 (0792) 34-6669	金沢 (076) 249-5301	水戸 (029) 248-3870	旭川 (0166) 25-3111
神戸 (078) 843-3200	新潟 (025) 287-3155	宇都宮 (028) 660-5008	北見 (0157) 61-0480
大阪(支) (06) 6635-2222			
工事営業部 (06) 6632-1144			
京都 (075) 341-0595			
和歌山 (073) 473-8867			